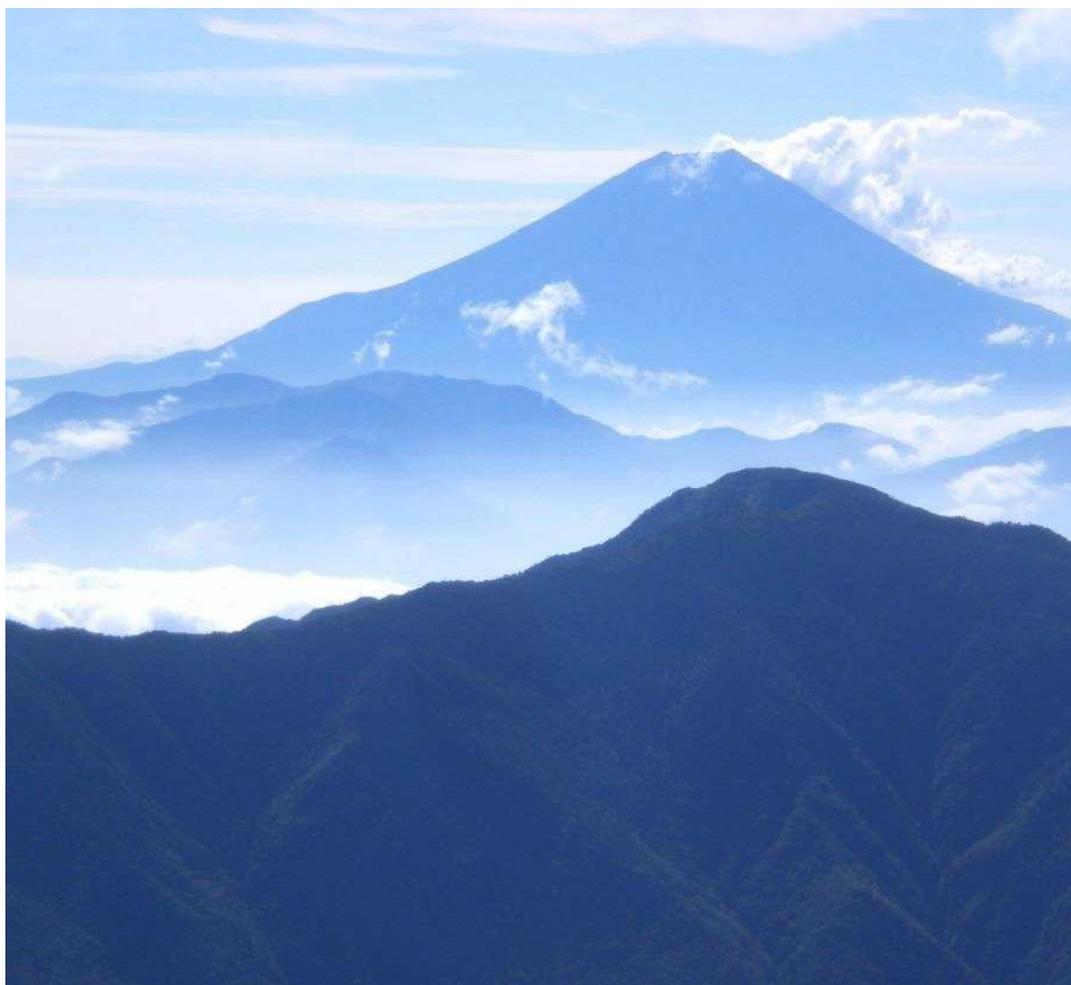


# 西大和つうしん

2013年 9月号

No. 375



赤石岳の稜線上より富士山を望む  
7月22日 例会山行

奈良県勤労者山岳連盟  
西大和山の会

# 西大和つうしん

第375号(2013年9月号)

## 【目次】

9月度山行計画.....	1
登山バス予告.....	2
9月度・10月度カレンダー.....	3
山行・行事等参加メモ.....	4
<b>山行報告</b>	
例会山行1 《7月 19～22日》 南アパス 荒川三山～赤石岳 (玉越・今井・阪口).....	5
HLS 教育山行 《8月 3～4日》 大峰の山 天狗倉山付近(杉川).....	7
例会山行1 《8月 10～13日》 北アパス 立山三山～大日岳(高橋).....	8
自主山行 《8月 16～19日》 北アパス 唐松岳～鹿島槍ヶ岳(的場).....	10
自主山行 《8月 17日》 大峰の山 山上ヶ岳(亀高).....	13
室内例会だより(7/25).....	15

## 9 月 度 山 行 計 画

～大台の秘境へ、ひと足早い秋を探しに～

### ◆9月15日(日):女性部山行◆台高の山《西大台》

[L:藤本 / 緊連:都築]

【集 合】6:00 上牧町役場前駐車場

【コース】大台ヶ原P～松浦武四郎碑～七ツ池～経ヶ峰分岐～開拓分岐～展望台～開拓分岐～中ノ谷木橋～大台ヶ原P 【歩行時間:約4時間30分】

※出発前にイフォメーションセンターにて講習を受けます(8:30-9:00)

※~~入山許可証は当日配布します。~~9/8 室内例会にて配布済み。

※当日、身分証明書(免許証、保険証など)を忘れず持参願います。

※少雨決行。荒天の場合は中止します。決行の可否は前日14日19時までにリーダーが判断し、中止の場合のみメールにて通知します。併せてHPにも掲載します。

※中止の場合でも、入山料1,000円の払い戻しはありません。但し、大台ヶ原ドライブウェイが通行止めとなった場合のみ、日程の変更が可能です。

～中央アルプスの主峰と、岩の殿堂にテント泊で～

◆9月21日(土)～22日(日)：例会山行1《テント泊》

◆中央アルプス《木曾駒ヶ岳～宝剣岳》

[L：辻 / SL：多賀・藤井 / 緊連：島崎]

【集 合】9月21日 AM6:30 JR 王寺駅南口ミタド<sup>3</sup>-ツ付近  
王寺駅(6:30 発)⇒菅ノ台(10:30 着)

【行 程】

《21日》

【菅ノ台(11:00)=<バス・ロープウェイ>=千畳敷(12:00)】

千畳敷(13:00)～浄土乗越(13:45)～頂上山荘テント場(15:00 着)

《22日》

頂上山荘テント場(7:00)～木曾駒ヶ岳(7:30)～頂上山荘テント場(8:30)～

宝剣山荘(9:30)～宝剣岳(10:00)～千畳敷(11:30 着)

【千畳敷(12:00)=<バス・ロープウェイ>=菅ノ台(13:00)】

《下山後入浴／帰宅予定時間：18:30 頃》

## 登山バス予告

～奥高野の名山から旧熊野街道小辺路へ～

◆10月27日(日)：登山バス◆奥高野の山《伯母子岳》

[L：辻 / 緊連： ]

【集 合】6:30 JR 王寺駅南口付近

【コース】遊歩道入口～(0:40)～口千丈山～(1:30)～伯母子岳～(1:00)～桧峠～  
(0:40)～萱小屋跡～(0:40)～大股橋 【歩行時間：約4時間15分】

【帰宅時間】18時頃予定

# 西大和山の会 カレンダー

9 月		10 月	
1 日	例会山行 県連広域捜索訓練 曾爾屏風岩付近(藤本)	1 火	県連理事会
2 月	↳9/1 会報(9月号)原稿締切	2 水	
3 火	県連理事会	3 木	ハイクワリター-学校座学(第6回)
4 水		4 金	
5 木		5 土	
6 金		6 日	例会山行 湖北山本山～賤ヶ岳(高橋)
7 土		7 月	↳10/6 ハイクワリター-学校実山行
8 日	室内例会・夏山反省会・暑気払い	8 火	
9 月		9 水	
10 火		10 木	
11 水		11 金	
12 木		12 土	
13 金		13 日	例会山行 台高伊勢辻山(的場)
14 土		14 月	
15 日	女性部山行 台高西大台(藤本)	15 火	
16 月		16 水	
17 火		17 木	
18 水	会報(10月号)原稿締切	18 金	
19 木		19 土	
20 金		20 日	例会山行 紀泉川 雲山峰(玉越)
21 土	21(土)～22(日)例会山行(テオ泊)	21 月	
22 日	中興アルプス 木曾駒ヶ岳・宝剣岳(辻)	22 火	
23 月		23 水	会報原稿締切
24 火		24 木	
25 水	室内例会	25 金	
26 木		26 土	
27 金		27 日	登山バス 奥高野 伯母子岳(辻)
28 土	県連チャレンジハイク	28 月	↳10/27 県連ちびっ子遊び隊
29 日		29 火	
30 月		30 水	室内例会
		31 木	ハイクワリター-学校座学(第7回)

## 山行・行事等参加メモ

		例会	例会	例会	例会	自主					
50 音順		9/8 室内 例会	9/15 西大 台	9/21 木曾 駒	10/27 伯母 子岳	10/9 ～15 東北					
1	(石田)			○							
2	今井	○		○	○	○					
3	内田	○	○	○	○						
4	勝尾	○	○	○	○						
5	亀高	○		○車	○						
6	(窪田)				○						
7	阪口	○		○	○	○					
8	島崎	○	SL車	緊	○	L					
9	杉川	○		○車	×						
10	杉村	○		○	○						
11	多賀	○		SL	○						
12	高田										
13	高橋	○			×						
14	田中悦	○			○						
15	田中初	○			○						
16	玉越					○					
17	辻	○		L車	L						
18	都築	○	緊	○	○						
19	橋本										
20	林	○	○車	○車	○						
21	藤井	○		SL	○	○					
22	藤本	○	L	○	×						
23	松浪	○	○		○						
24	的場	○		○	×						
25	三島										
26	村田										
	合計	19	6	15	16	5					

## 例会山行1（夏山山行）

### 南アルプス 《荒川三山 3,141m・赤石岳 3,120m》

【日 程】7月19日（金）～22日（月）

【参加者】L 島崎・SL 多賀・藤井・今井・阪口・高田・玉越（7名）

7月20日（土）晴れ

【コースタイム】榎島ロッジ(9:00)～小石下(11:10)～清水平(12:30/13:00)～見晴台(14:00)～駒鳥池(15:15)～千枚小屋(16:00)

前日奈良を出発し、ナビにミスリードされ20時前によく畑薙ダム駐車場に到着した。朝、榎島ロッジまで東海フォレストのバスで移動。バス内は約30人の登山客で満員状態。予定時刻より早く出発した。1時間ほどで到着する榎島ロッジで準備体操を済ませ、9時いよいよ登山開始。

南アルプス特有の深い深い森の中に入っていく。暑さとどこまでも続く登りにうんざりする中、シラビソの黄緑色のかわいい新芽に励まされる。途中何度も頭上を搜索ヘリが飛ぶ。我々も登山道の脇にも目をやりながら進む。オオシラビソの森にある水場・清水平で昼休憩。冷たい水にタオルを浸して体を拭くと疲れが吹っ飛ぶ。小鳥もパシャパシャと水浴びをしていた。

このルート唯一の展望所・見晴台からは、明日目指す荒川三山と赤石岳が望める。大汗をかきながら長い登りを少しずつ進んできたのに、すぐ脇を林道が走っているのを見つけてなんだかモヤッとしてしまう。そこからさらに2時間登って、駒鳥池、ダケカンバの林を過ぎると千枚小屋に到着。目の前には雄大な、2本角の富士山が望める。2009年に焼失し、その後再建された小屋はととてもきれいで居心地がよい。食事豪華でとても美味しい。今日は長い登りにほとほとくたびれた。明日に備えて早く休む。

（玉越 啓子）

7月21日（日）晴れ

【コースタイム】千枚小屋(5:30)～千枚岳(6:25)～丸山岳(7:47)～悪沢岳(8:35)～中岳(10:40/11:10)～前岳分岐(11:15)～前岳(11:25)～前岳分岐(11:30)～荒川小屋(13:00)

南アルプスに入り2日目。今日も晴天に恵まれ千枚小屋から富士山も綺麗に見える。

千枚小屋を予定時間より早く出発。小屋を出て暫く登ると尾根に出て展望が広がり気持ち良く歩くと千枚岳山頂に到着。高山植物もオオサクラソウ、ゴゼンタチバ

ナ、カラマツソウ、ヨツバシオガマ、バイケイソウ、イワツメクサ、ミヤマオダマキ、タカネヤハズハハコ、グンナイフウロ等が見られるようになった。

丸山岳へはやさしく緩やかな稜線が続いている。ちょっとホットする。その先の悪沢岳、中岳、赤石岳はまだまだ彼方。悪沢岳、赤石岳の眺望を楽しみながら丸山岳山頂へ。記念写真等撮り、歩き始めて直ぐに雷鳥発見。雄鳥らしい、それなら家族が近くに居るはずと気をつけて歩くと離れた岩の上に母子発見。雄鳥は遠くから母子鳥を見守っている？雷鳥に元気貰う。丸山岳から岩稜帯を歩き、憧れた悪沢岳へ到着。悪沢岳山頂からも360度の大自然、富士山、塩見岳、北岳、聖岳、ハヶ岳、御岳山？遠くに北アルプスの槍らしき峰も見えた。山並みの景色もすばらしいが悪沢岳から中岳への道はハクサンイチゲ、シナノキンバイ、ミヤマクロユリ、ハクサンチドリ、ショウジョウバカマ、ミヤマダイコンソウ等が咲き誇りお花の絨毯になっていた中岳山頂にて早目の昼食。中岳を過ぎ前岳分岐にリュックを置き空身に飲み物だけ持って前岳へ。前岳南東斜面のお花畑は日本屈指らしいが、生憎それらしき斜面はわからなかった。荒川小屋への途中、いくつものカールがお花畑になっており、すばらしい景色を見る事が出来た。花をゆっくり楽しみながら下っていると眼下にオレンジの屋根の荒川小屋が見えてきた。SLの提案でティータイムとなり、なんとも贅沢な景色の中でのコーヒは格別。

こんな素敵な日程を組んで下さったCLに感謝。お天気に感謝。山仲間感謝の山旅でした。

(今井 雅代)

## 7月22日(月)曇り後晴れ

【コースタイム】荒川小屋(5:10)～大聖寺平(5:40)～小赤石岳(7:05)～赤石岳(7:35)  
～富士見平(9:45)～赤石小屋〔昼食〕(10:25/11:10)～樺島ロッジ(14:35)

夕べの雨のなごりのガスの中、赤石岳へ出発です。小屋から少し樹林帯を登り、足型のついた歩きやすい雪渓を横切り大聖平で小休止。目の前には、小赤石岳がそそり立ち、我々より少し前に小屋を出た人が登っていく姿が見えて、その後を追うように登っていくと、目の前に雷鳥が何度か現れ、しんどさも少し和らぐ気分になりながら小赤石岳に到着です。小赤石岳からは、すごい風で防寒着を着こみ、リュックを置き、いよいよ赤石岳頂上に向け出発。風が強くと飛ばされそうになりながら登頂：ヤッター。天気に恵まれ、富士山、北岳、間ノ岳、甲斐駒、仙丈ヶ岳、塩見岳、北アルプスも見え、今回越えてきた山々を眺めながら、いよいよ長い下山です。富士見平に行くまでにお花畑があり、振り返ると、真っ青の空が花々を引き立て登山写真を見ているようで感激。岩場を通り富士見平からは、樹林帯に入り、ひたすら長い下り。途中登ってくる登山者のしんどそうな顔を見るたびに、下りでよかったなと思ったのですが、足の方は悲鳴を上げていました。みんなの足取りもそろい、予定より早く無事下山。途中会う登山者も少なく、チョット気抜けしたような気分だったので、私達の下山とすれ違いに、二つのツアー登山者が登って行くのを見て、山小屋で一緒にならなくて良かった。天気に恵まれ、沢山のお花も見れて、静かな登山が出来て最高でした。

(阪口 百合子)

県連ハイキング・リーダー学校 教育山行

大峰の山 《天狗倉山》東域付近

【日 程】 8月3日(土)～4日(日)

【参加者】 杉川(1名・他会から5名)

【コースタイム】

8/3 檀原神宮前東口集合(22:00)～五色谷(23:30)〔テント泊〕

8/4 五色谷(08:00)～稜線取り付き(09:25)～P986〔黒尾山〕(10:30)～稜線上にて昼食(11:40/12:00)～P990(13:30)～駐車場(14:00)

ハイキングリーダー学校2回目の教育山行は読図山行でした。

前日の22:00に檀原神宮前に集合。23:30位よりテント設営。そして親睦を深める為にお酒を飲みつつ山談議の始まり(笑)。つつい話し込んでしまいました。楽しい時間でした。

朝は6:00起床。珈琲を飲み朝食を終え8:00出発。最初から地形を確認しながら進む。地理院25000をここまで確認しながら登るのは初めての経験。現在地を意識し、周りの山を確認、数名に分かれ先の地形を確認しに行く。進む時も地形を意識して、尾根の数を確認しながら進む。これがなかなか難しい！イメージどおりと思えばまったくの読み違いの地形もある。読図の大切さを実感しました。もし道に迷った時、不安定な精神状態でも確実に地図を読めないと本当に帰れない事になるかもしれない。道迷いの怖さを想像してしまいました。今までは地図を持たないで山に入ることもありましたが、これからは必ず地図を持とうと思いました！当たり前の事ですが(笑)。そしてひたすら確認しながら進み、道なき尾根を進み、ようやく14:00に下山。ほっとしました。そして、整備された登山道の有難さを実感しました。

今回も本当にいい勉強になりました。これからは常に地形を意識して山行を楽しみたいと思います。

(杉川 明裕)



## 例会山行1（夏山山行）

### 北アルプス 《立山三山～大日岳》

【日 程】8月10日（土）～13日（火）

【参加者】L 藤井・SL 林・島崎・村田・石田・勝尾・内田・高橋（8名）

【コースタイム】

8月11日（日）

室堂平(9:15)～浄土山(11:05)～一の越山荘(11:55/12:20)～雄山(13:30/14:00)～大汝山(14:35)～富士ノ折立ち(14:50)～真砂岳(15:45)～劔御前小舎(17:00)

8月12日（月）

劔御前小舎(5:45)～新室堂乗越(6:50)～奥大日岳(9:10)～中大日岳(11:20)～大日小屋 昼食(11:25/12:00)～大日岳(12:25)～大日平山荘(15:25)

8月13日（火）

大日平山荘(6:25)～猿が馬場(7:35)～称名の滝(8:45/9:00)～称名の滝バス停(9:15/30)＝立山駅 入浴(9:45/10:35)＝富山駅 昼食(11:45～)＝新大阪駅(22:10)

#### 8月11日（日）快晴

10日の夜行バスで大阪を発ち早朝に富山駅に到着、前泊組の2名と合流しバスで室堂平へ。ここで石田さんと合流しメンバー8名が勢揃い。ストレッチや水場で水を補充後本日のコース概要の説明を受け出発。暫くは観光客や登山者で溢れた高山植物の咲き乱れた遊歩道を進む。やがて観光客と別れ室堂山、浄土山に登る。頂上でこれから行く雄山や劔岳・薬師岳・笠が岳など360度の展望を満喫したあとの越山荘へ向かう。山荘前で昼食後、村田さんが体調不良の為、急遽下山する事になって、一の越山荘にて別れる。

登り降りの観光客や子供達でアリンコの行列のように混雑するザレ状の登山道を落石に注意しながら雄山に登る。

雄山神社の神主さんに登山の安全を祈るお祓いを受け大混雑と別れ、立山最高峰の大汝山・富士ノ折立・真砂山とキツイ登り降りを何度も繰返し夜行バスの疲れがピークに達した頃劔御前小舎に着いた。目の前の偉容をほこる劔岳に感動し一度は挑戦してみたい衝動にかられた。

夜は天の川など満天の星空や近辺の山小屋の灯などを満喫した。



### 8月12日(月) 快晴

今日も快晴。小舎前で昨日歩いた尾山から小舎までの峰々や槍ヶ岳・野口五郎岳・薬師岳など 360 度の大パノラマを満喫したあと出発。ハイマツ林の急下りを慎重に新室堂乗越まで一気に 320 メートル下る。奥大日岳からは鎖ハシゴが随所にあるキツイ登り降りを繰り返して中大日岳に到着。大日小屋で昼食コーヒータイムをとり緊張した神経をリラックスさせ後半の難所に備えた。ザックをデポし大日岳に登りこれで大日三山三座とも踏破した。

大日岳からの岩場ガレ場を慎重に下り大日平山荘に着いた。小さな山小屋だが風呂があり汗を流し、全員がビールで喉を潤した。

夜中にベルセウス座流星群など天体ショーを見て感動した人もいた。

### 8月13日(火) 快晴

朝の爽やかな空気の中、この 2 日間歩いてきた山々や 360 度の展望を満喫しながら大日平の平坦な木道を快調に進む。木道が終わるとロープやハシゴが点在する滑りやすい岩場やガレ場が続く慎重に進む。

猿が馬場で休憩して気を引締め、落差日本一の 350m を誇る 4 段に折れながら流れる称名の滝まで一気に下山して今回の山行を無事終了した。

立山駅前で入浴し、富山駅前の料理店で富山湾産の赤海老 白海老 ホタルイカなどの美味しい昼食をいただき、高速バスで大阪まで帰った。

3 日間とも素晴らしい天候に恵まれ、大パノラマや可憐な花々を満喫できた大満足の夏山山行でした。リーダーさん、サブリーダーさん、皆さんありがとうございました。

(高橋 稔)

自主山行

北アルプス 後立山連峰

《唐松岳 2,696m～五竜岳 2,814m～  
鹿島槍ヶ岳（北峰 2,842m、南峰 2,889m）》

【日 程】8月16日（金）～19日（月）

【参加者】L 的場・阪口・今井（3名）

【コースタイム】

8/17 八方駐車場(6:10)～ Gondola 八方駅(6:30)＝八方池山荘(7:30)～丸山ケルン(9:15)～唐松岳頂上山荘(10:10)～唐松岳(10:45)～五竜山荘(14:10)

8/18 五竜山荘(4:30)～五竜岳頂上(5:40)～口の沢(8:20)～キレット小屋(9:30)～鹿島槍吊尾根分岐(11:25)～北峰(11:40)～南峰(12:35)～布引山(13:30)～冷池山荘(14:20)

8/19 冷池山荘(5:30)～赤岩尾根(西俣出合) (8:00)～大谷原(9:00)

\*休憩は短時間(10分程度)で済ませています。

第1日目(8/17)

前日の午後11時ごろ八方に到着し、無料の駐車場に止めつつもりでしたが、明るくなってテントの外へ出てみると有料の駐車場であった。早速テントを片づけて、無料の駐車場を探し移動する。

AM6:30 Gondolaの始発なので急いで朝食を摂り、Gondolaにならぶ。列の前で、大きなカメラを持った大阪からのご夫婦から、ETCは日が変わると高速代が半額になることを教えてもらった。



リフトを2回乗り換え、八方池山荘の前に降り立つ。もう森林限界を超えているのか景色をさえぎる木はない。比較的なだらかな石ころの道を登っていく。第2ケルン、第3ケルン、丸山ケルンと目安になるケルンがある。

唐松岳頂上山荘に着くと、唐松岳の全容が見える。山溪の雑誌に、浩宮皇太子が昭和63年に、この山を登った記事があったのを思い出した。唐松岳の頂上に立つと白馬三山や鹿島槍ヶ岳への山並みがよく見

える。また、立山や劔岳も目の前に見える。

唐松岳で絶景を堪能して、五竜山荘に向かう。ここからは、アップダウンの縦走だけでなく、岩稜帯の斜面をトラバースしなければならない。いくつもの山を越えるが、なかなか山荘が見えてこない。だんだんと写真を撮る余裕もなくなってくる。山荘が見えた時の喜びは、なかなか平生味わうことのないものである。

予約してあったので、2階の比較的明るいきれいな畳部屋が与えられた。食堂でビールで反省会のような雑談後、夕食をPM5:00に済ませ、部屋で横になっていると、疲れていたのか、いつの間にか寝入ってしまい、気がつくと消灯になっていた。

## 第2日目 (8/18)

今日の行程は、9時間ほどかかるので、早めの出発にする。3人とも午前3時30分ごろ目が覚め、出発準備にとり係る。

小屋の外へ出ると、まだ暗いが、もう五竜岳の中腹辺りにはヘッドランプの明かりがいくつか見える。我々も、上着をはおり、五竜岳を目指す。歩き始めて30分



ほどで日の出が見えてくる。五竜岳のモルゲンロートが見られた。岩場を何箇所か超え、1時間ほどで頂上に到着。何組かのグループがもういた。

中には、11日間も折立から縦走している3人組の強者もいた。大学生のようだが、顔は真っ黒に日焼けし、大きなリュックを背負っている。まだまだ頼もしい若者がいるものである。今日は冷池山荘のテン場でテント泊らしく、途中、抜きつ抜かれつになった。

いくつかの山を越えると急にキレット小屋が現れた。山と山の間には挟まれた狭い稜線に立っている山小屋である。ここで少し休憩する。そして、気持ちを奮い立たせ八峰キレットに向かう。何箇所か鉄梯子はあったが難易度の高いところはなく、あっという間にキレットは過ぎてしまいました。次は

鹿島槍北峰まで400m余りの高度差の急な登り。昨年の黒部五郎岳のカールもきつかったが、ここの登りも結構こたえた。

間もなく吊尾根分岐に到着し、ザックを置いて北峰に登る。頂上はガスで視界が悪い。頂上標識も雷でも落ちたのが割れている。そそくさと頂上を後にし、南峰を目指し吊尾根に登る。南峰に着くと、冷池山荘からのピストンであろう人たちが、

のんびり山並みを眺めている。

頂上に立つと、我々がいる南峰から南にまっすぐのびる縦走路の東側はガスがで真っ白だが、西側はすっきり切れて、立山連峰、爺ヶ岳、種池山荘がよく見える。記念撮影をして、残る山旅を惜しむかのように南峰を後にして、湧き立つ雲を横に見ながら冷池山荘まで歩いて行きました。

### 第3日目（8/19）

今日は下山だけなので、小屋でゆっくり朝食をとり、タクシーの予約をして出発する。赤岩尾根を下る分岐のあたりで、東京の八王子から来たという初老の人が、自分も八方に自動車を置いているので、タクシーに便乗させてもらえないかということなので、快く引き受け一緒に歩くことにする。1人で来たらしく、そういえば五竜山荘あたりから前や後ろになっていたことを思い出す。我々のメンバーの1さんの鹿島槍ヶ岳南峰からの下りの速さにびっくりしていた。

左側に鹿島槍の又耳峰を見ながら赤岩尾根を下りて行く。9:00に大谷原に到着し、ここからは、予約していたタクシーで八方に向かう。八方に近づくと、パラグライダーが八方尾根のあたりをのどかに旋回しているのが見えた。

車置き場に到着後、前もって調べておいた白馬八方温泉の露天風呂「おびなた温泉」へ行き、3日間の垢を落としさっぱりして帰路に就く。

なにか物足りないほどハプニングもなく、また帰りは渋滞にも遭わず、無事王寺まで予定より早く帰って来られました。これも一緒に行った方たちはもちろん、会員のみなさんのお陰と感謝しています。ありがとうございました。

（的場 喜義）



キレット小屋

## 自主山行

大峰の山 《山上ヶ岳》

【日 程】8月17日(土) 晴れ

【参加者】L 亀高・藤本・田中(悦)(3名)

【コースタイム】五番関トンネル西口P(8:00)～五番関境界門(8:15)～洞辻茶屋(9:55)～西の覗(10:45/52)～大峰山寺(11:05)～山頂付近で昼食(11:15/40)～小笹の宿(12:23/40)～大峰山寺(13:16/30)～西の覗(13:40)～洞辻茶屋(14:08/15)～五番関境界門(15:50)～五番関トンネル西口P(16:00)

夏山山行に参加できなかった3人で、霊山・山上ヶ岳を目指しました。お盆休み最後の土曜日で観光客や登山客で賑わう洞川温泉街を抜け、到着した五番関トンネル西口駐車場には、不思議と1台も駐車しておらず、広い駐車場をひとり占めして停め、まずは五番関を目指します。

五番関は、吉野・大天井ヶ岳から山上ヶ岳・大普賢岳へと至る奥駆道の北の境界門で、トンネル西口からいきなりの急登でした。五番関で境界門を超えてからも急登が続き、しばらく登山から遠ざかっていた身にはこたえました。

清浄大橋からの登山道と合流してすぐに洞辻茶屋に到着です。茶屋は、建物の中を貫いて登山道が続いており、修験者が食事や休憩が取れるようになっています。

我々もしばし休憩を取りました。

休憩後、山頂を目指して再び歩き始めましたが、どういう訳かセミ・カエルや鳥の鳴き声が殆ど聞こえません。静寂な登山道に時折、大峰山寺方面から法螺貝の音が響きます。登山者の多くは修験者の衣装をまとい、すれ違うときの挨拶は、「こんにちは」ではなく「ようお参り」です。



やがて、最大の難所である鐘掛岩に着きました。岩登り修行は田中さんにお任せし、私と藤本さんは迂回しました。さ

らに西ノ覗で岩から身を乗り出して谷底を覗いた後、山上宿坊の傍らを通って、大峰山寺に到着しました。山頂付近でもセミは鳴いていませんでしたが、たくさん赤トンボ(アキアカネ)が乱舞していました。この時期の山頂付近の赤トンボは赤

くなく、秋の深まりとともに山頂から山里へと下山するに連れて徐々に鮮やかな赤色に変化していきます。



山上ヶ岳山頂のお花畑付近（とはいってもこの時期、ほとんどお花は咲いていませんが・・・）で食事を取った後、小笹ノ宿まで足を伸ばしました。小笹ノ宿には水場があり、宿坊跡や避難小屋があります。ここから先には、南の境界門の阿弥陀ヶ森の分岐を経て大普賢岳に至る道が続いていますが、それほどのパワーは残っておらず、小笹ノ宿を後に山上ヶ岳へと引き返しました。戻ってきた大峰山寺の境内には、本堂から聞こえてくる修験者たちのお経と法螺貝の音がいつまでも響き

渡っていました。

初めて訪れた山上ヶ岳は、他の大峰山系の山とは少し違った独特の山でした。急登や岩登りもあり、久々の山行で少々疲れましたが、何故か心洗われる1日でした。  
(亀高 茂)



西ノ硯岩

# 室内例会だより

【日 時】2013年7月25日(木) 19:30~21:00 事務所  
【出席者】島崎、林、杉村、内田、三島、藤本、村田、田中(悦)、田中(初)、多賀、藤井、勝尾、辻、玉越、杉川、阪口、今井、高田、亀高、都築

## 1. 山行案内

8月10日(土)~13日(火)  
例会山行1 北アルプス(立山三山~大日岳) L 藤井  
8月16日(金)~19日(月)  
自主山行 北アルプス(鹿島槍) L 的場  
8月25日(日) 例会山行2 丹波の山(篠見四十八滝) L 田中(初)  
9月1日(日) 例会山行1 県連広域搜索訓練(詳細未定) L 藤本  
9月15日(日) 女性部山行 台高の山(西大台) L 藤本  
9月21日(土)~22日(日)  
例会山行1 中央アルプス(木曾駒ヶ岳~宝剣岳) L 辻

## 2. 山行報告

7月7日(日) 夏山訓練山行 大峰の山(大普賢岳~七曜岳) L 辻 12名  
7月7日(日) 県連ハイキング・リーダー学校 教育山行 比良の山(蓬莱山)  
杉川・玉越 他会から4名

## 3. 連絡その他

### ・県連より報告

県連女性委員会主催交流山行(バス山行) 11月16日 稲村ヶ岳  
全国連盟主催 西日本女性担当者集会 2014年2月8~9日 沖縄 国頭山  
近畿ブロック自然保護交流ハイク 10月26日 武庫川廃線跡ハイキング道  
ちびっ子あそび隊山遊び 10月27日 県立矢田山自然公園 子供の森  
来期のクリーンハイクのあり方等

・8月の室内例会は、9月8日(日)午後1時30分より行いますので間違わずに来てください。(暑気払い、夏山反省会を兼ねるため)

・会報の編集・発行およびHPの編集・運営に関する事項について

(都築 周作)

第375号（2013年9月号）

# 西大和つうしん

2013年9月8日発行

発行責任者 島崎 隆

編集責任者 藤本武司

奈良県勤労者山岳連盟 西大和山の会

<http://www.nishiyamatoyama.org/>